

(別添1)高齢者、障害者等の配慮事項チェックリスト(案)

| 場面 | 高齢者、障害者等の避難に関する課題 | チェックリスト | 例 | |
|--|---|--|--|---|
| 平常時における備え | 避難する場所等に関する情報の入手・利用が困難 | ◇避難先(福祉避難所含む)に関する情報や各種ハザードマップなどの情報が届くようになっていますか | ・ハザードマップ等を点字や音声で配布している 等 | |
| | | ◇避難先に段差がないか、多機能トイレがあるかなどの情報がありますか | ・避難先リストにバリアフリー化情報を追加している 等 | |
| | 支援力と受援力の向上 | ◇コミュニケーションを図る手段がありますか | ・ヘルプマーク、絵カードを活用している 等 | |
| 発災時又は発災のおそれが生じた時 | 災害の状況等に関する情報の入手・利用が困難 | ◇災害の状況を迅速に伝えるために、視覚、聴覚、触覚などの様々な感覚を活用した「多様な手段による情報提供」(文字、音声、点字、記号、筆談、手話、録音、光、振動等)がありますか | ・通常時の電光表示板が災害時には災害情報を表示できる 等 | |
| | 垂直移動施設が使用できず危険な場所から脱出することが困難 | ◇エレベーターが使用できなくなった時に、階段を昇降できない方への対策がありますか | ・階段避難車を備える、人による搬送がしやすい階段の幅員や緩勾配の確保する 等 | |
| 避難する経路 | 共通 | 平常時から移動が困難(階段がある・不必要な段差がある) | ◇避難する経路はバリアフリー化されていますか ◇避難する経路は、危険が少ないですか。また、短縮化するなどの工夫ができますか | ・段差の解消や手すりの設置、視覚障害者誘導用ブロックの敷設等 ・沿道に危険なブロック塀がない、経路確保のための協定による敷地内の通り抜け 等 |
| | | 避難する場所の方向がわからない | ◇避難する経路上にわかりやすく見やすい案内表示はありますか ◇案内表示は夜間でもわかりやすくなっていますか | |
| | 明るさが得られず周囲や路面の状況が確認できないことで移動が困難 | ◇避難する経路が停電時に暗くならないよう、工夫されていますか | ・ソーラー式の照明を設置する ・反射板を設置したり、舗装の工夫をする 等 | |
| | 津波避難の場合 | 歩行速度が遅いため、津波到達までの短時間避難が困難 | ◇津波到達までの短時間避難が困難な場合、高台や住宅等の高層階への居住の促進を行っていますか | |
| ◇津波到達までの短時間避難が困難な方に対して、近くに避難できる場所や避難ルートを確認していますか | | | ・津波避難ビルの指定や整備、津波避難タワーの設置、高台の確保、高台等への避難ルートの確保 等 | |
| ◇歩行速度が遅い人がいても安全に避難できるよう、避難する経路に十分な幅がありますか | | | | |
| ◇車で避難する場合に備えて、駐車可能なスペースがありますか | | ・避難経路沿いや高台の避難先に駐車ができるスペースを確保 ・道の駅など、駐車可能なスペースを避難先として活用 等 | | |
| 避難途中の急勾配や階段を昇ることが困難(高台) | | ◇高台へ避難する経路等が急勾配や階段である場合、安全に昇るための工夫がありますか | ・スロープを階段とは別に確保する ・階段に手すりを設置する ・介助できる幅員を確保する ・階段ではなく勾配はきつい介助者と一緒に昇ることができるスロープを整備する 等 | |
| 避難途中の急勾配や階段を昇ることが困難(津波避難ビル・タワー) | ◇津波避難ビルや津波避難タワーの階段を昇ることが困難な高齢者や障害者等に対する工夫がありますか | ・スロープ(駐車場への斜路など)があるビルを指定する ・スロープを設置する ・階段に手すりをつける、介助できる幅員を確保する 等 | | |

| 場面 | | 高齢者、障害者等の避難に関する課題 | チェックリスト | 例 |
|--------|--------------------|-------------------------------|---|--|
| 避難する経路 | 地震に伴う火災延焼 避難の場合 | 不陸、陥没、亀裂等による路面の段差によって移動が困難 | ◇避難する経路について、揺れによって不陸、陥没、亀裂や段差の生じやすいインターロッキング舗装を避けるなど、段差を生じさせない舗装の工夫がありますか | ・点検によって避難する経路の危険を確認し、代替ルートを考える等 |
| | | 道路上の障害物によって移動が困難 | ◇避難する経路について、沿道の看板や植木鉢など、通行の妨げとなる障害物が経路上に散乱しないような沿道の対策がありますか | |
| 避難する場所 | | 長距離の歩行が困難で、遠方の避難する場所への到達が困難 | ◇長距離の歩行が困難で、遠方の避難する場所への到達が困難な場合、身近な施設を避難場所に指定するなどの工夫がありますか | ・身近な施設を活用する ・中継地点を設ける等 |
| | | 避難する場所に入ることが困難、また、入った後に移動が困難 | ◇施設の入出口等の段差の解消をはじめとする、避難所のバリアフリー化がされていますか | ・段差解消されている施設を指定する。 ・段差にスロープを設置し、段差の解消を図る ・段差に手すりをつける、介助できる幅員を確保する等 |
| | | 避難する場所が過ごしにくい | ◇大空間に大勢の人がいることで、過ごしにくさを感じる高齢者や障害者等への配慮がありますか | ・別室や別施設の確保など、支援を要する人のための専用のスペースの確保 ・間仕切り壁等によって空間を仕切れるものを準備 ・大空間であっても、位置が確認しやすく移動しやすい場所の確保等 |
| | | トイレが使えないという切実な問題 | ◇多機能トイレがありますか ◇災害用トイレは準備されていますか | ・避難する場所における日頃からの多機能トイレの充実 ・災害用トイレにおける車いす使用者やオストメイト対応 ・車いす使用者が使える広さがある、段差がなく、手すりがある災害用トイレの確保等 |
| | | 他の避難者が入手できている情報を入手できない、入手しにくい | ◇避難者に必要な情報を伝えるために、視覚、聴覚、触覚などの様々な感覚を活用した「多様な手段による情報提供」（文字、音声、点字、記号、筆談、手話、録音、光、振動等）がありますか | |
| | | 移動や情報の入手・利用に必要な電源等が確保できない | ◇移動や情報の入手・利用に必要な電源等がありますか | ・電動車いすのバッテリー確保 ・情報入手のために必要な機器（携帯、補聴器など）の電源の確保等 |